



ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和6年11月22日
文責：校長 江上 知男

「心を合わせて」学習発表会を開催しました！



11月21日(木)に、本校体育館で学習発表会を開催しました。午前中は1・3・5年生、午後は2・4・6年生の部とし、それぞれを児童会運営委員会が進行しました。近年は、コロナやインフルエンザなどの影響で、学年ごとの分散開催を余儀なくされました。1日で実施できるのは、令和元年度以来5年ぶりでした。「当たり前に行事ができること」を本当にありがたく感じました。

さて、子どもたちの発表はいかがだったでしょうか。様々な行事や取り組みと重ねながらの準備でしたが、各学年とも時間を有効に使って楽しみながら準備を進めていました。また、広い体育館での発表ですから「どのように伝えるか」は重要なポイントでしたが、各学年とも様々な工夫や積み重ねがあり、「子どもたちの学習の足跡と成長」を感じられるものでした。さらに、他学年の発表を観る子どもたちの眼差しは真剣で、6年生発表の感想に「自分も戦争の(平和の)学習をしたい」と発言してくれた子どもの姿を見て、「分散ではなく集合開催をした価値があった」と思いました。そして、他学年運営委員会の進行は「さすが学校のリーダー」と感じさせるものでした。

来校いただいたゲストである地域の方々及び保護者の皆さまに、心から感謝いたします。

【1年】音読劇くじらぐも：日常の学校生活を織り込み、言葉・動き・背景絵等を工夫した、伝わりやすい音楽劇だった。くじらぐもの創作物が有効に使われ、物語の中に引き込まれる内容だった。

【2年】地域たんけんで見つけたこと：地域探検や牧場見学で気付いたことを会話形式で発表。「探検知ってるかい？」の歌が素敵。「働く人の気持ちがあった」という言葉が印象的だった。

【3年】もっと知りたいかしま町：社会・総合学習で取り組んだ「学校周辺の様子」「農家への聞き取り」「工場見学」等を楽しく紹介。元気な歌声も心に残った。地域の様々なことを学んだことが伝わった。

【4年】山都町のくらしと文化：見学した鮎の瀬大橋・通潤橋・清和文楽を、写真をうまく使いながら紹介。大きな声の発表が分かりやすかった。「人々の知恵が素晴らしい」という台詞が大きな成果と感じた。

【5年】水俣で私たちが学んだこと：ペーロン姿で入場。個々の発表とプレゼンで、水俣の歴史・水俣病の発生とその後等を発表。「正しく知ること」「みんなの問題」「相手の立場で考える」に共感。

【6年】平和のバトンをつなごう：劇やプレゼンを使って、原爆の恐ろしさ・平和の大切さを学んだことの発表。戦争や差別は人を傷つけ命を奪うことを学び、「相手の立場に立ち、気付き・考え・行動する」という決意に感動。